レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	26,27,28 地域防災力のレベルアップ （旧ひょうご防災リーダー活動推進事業、防災人材育成拠点を活用した防災研修事業、消防団活性化支援事業）	部（局）	危機管理部
		所管課	消防保安課
		担当班	消防班
		連絡先	078-362-9480

開始年度	H16	終了年度	－	関連計画等	－
事業区分	□ 国補助事業　☑ 県単独事業				
実施方法	☑ 直執行　□ 委託　□ 補助　□ その他（　　）			実施主体等	県

事業目的	【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 地域や企業等における防災の担い手として活動する人材を育成することを目的に、自主防災組織のリーダー等防災の担い手に焦点をあてた体系的・実戦的な研修等を実施する。 【地域防災活動支援事業】 消防団及び自主防災組織等による住民等と連携した実践的な訓練・研修や消防団員加入促進活動の取組を支援することにより、消防団の活性化及び地域防災力の充実強化を図る。
事業概要	【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 ①ひょうご防災リーダー講座（基礎コース） 自主防災組織など地域防災の担い手となる人材を主な対象として、防災に関する知識・技術を体系的・実践的に習得するための講座を実施 ②防災リーダーステップアップ講座の実施 ひょうご防災リーダー(①修了者)を対象として研修を実施（防災に関する特定の技術を習得） 【地域防災活動支援事業】 ○消防団、自主防災組織、企業等連携訓練及び消防団加入促進等の支援 消防団員等が主体的役割を担いながら住民が参加する防災活動への積極的に参画できるよう、市町の取組に対して補助 （県1/2・市町1/2、補助上限100千円）
業務フロー	県直接実施
R5レビュー時の外部委員会意見	①防災リーダー育成の講座について、ターゲット層や何を教えるのかを再整理した上で、統合すべき。 ②地域防災力を高めるための事業は、裾野を広げる取組と防災リーダー育成事業の２層がある。 事業の再構築にあたっては、これらの棲み分けは適切に行われたい。 ③各地域で活躍している人材の事例を分析し、できてない事例では何がボトルネックとなっているのか把握すべき。
改善結果 （改善状況 取組過程）	【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 ①コースの統合 ・「自治体職員等防災基礎研修」を内容の近い「ひょうご防災リーダー養成講座（基礎コース）」へ統合、養成講座修了者を対象とした「防災士スキルアップ研修」と「ひょうご防災リーダー講座（上級コース）」を「防災リーダーステップアップ講座」を統合。（R6年度） ②事業の棲み分け ・「ひょうご防災リーダー養成講座(基礎コース)」で「地域防災の担い手となるリーダー」を育成し、「防災リーダーステップアップ講座」でひょうご防災リーダー（基礎コース修了者）に実践的講座を実施。（R6年度）

コース名	対象［期待する修了後の役割］	主な内容
基礎コース	自主防災組織リーダー 企業防災責任者等 市町推薦者 自治体職員 ［期待する修了後の役割］ ・平時の訓練等サポート ・非常時の避難所運営サポート	防災の知識・技術を習得 ①座学 災害の仕組み、防災行政、災害時要配慮者等 ②ワークショップ 避難行動訓練、災害対応ゲーム等

コース名	対象［期待する修了後の役割］	主な内容
ステップアップ講座	基礎コース修了者 （活動実績を有する者） ［期待する修了後の役割］ ・平時の防災訓練等を指導 ・災害時の避難所運営を指導	避難行動、避難所運営について、地域で指導的な役割を果たせる人材を養成 ・避難所運営、災害関連死予防等に関する座学やワークショップ ・話し方講習等

③修了者の地域防災活動の分析
・基礎コース修了者（4,017人）を対象に防災活動状況のアンケートを実施し、活動実績があるなど参加意欲が確認できた880人を市町へ共有するとともに、人材名簿を提供した（R7年度）。分析の結果、活躍している修了者は市町や自主防災組織との接点を有する一方、活動に至っていない修了者は地域との接点不足が課題であることが確認されたため、R8年度から基礎コースの受講者に市町推薦枠を設け、地域での活躍が期待される人材を受講段階から確保する仕組みを導入した。

【地域防災活動支援事業】
補助対象に、防災リーダー中心の自主防災組織の地域防災活動を加え、ひょうご防災リーダー育成や活動への支援を強化。（R6年度）

事業に要するコスト

区分			５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①			5,505 千円	6,240 千円	5,644 千円	5,880 千円
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料				
		補助金・交付金	975 千円	1,600 千円	844 千円	1,000 千円
		貸付金				
		その他	4,530 千円	4,640 千円	4,800 千円	4,880 千円
	（財源内訳）	（国庫）				
		（特定）				
		（起債）				
		（一般財源）	(5,505千円)	(6,240千円)	(5,644千円)	(5,880千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載			5,530 千円	6,240 千円	5,800 千円	5,880 千円
執行率((①/②)×100)			99.5%	100.0%	97.3%	100.0%
人件費③（a+b+c）			従事人員 2.0人 16,500 千円	従事人員 1.3人 11,205 千円	従事人員 1.3人 11,696 千円	従事人員 1.3人 12,269 千円
	職員給与費	a	14,312 千円	9,606 千円	10,274 千円	10,670 千円
	賞与引当金繰入額	b	1,188 千円	811 千円	772 千円	811 千円
	退職手当引当金繰入額	c	1,000 千円	788 千円	650 千円	788 千円
総コスト(①+③)			22,005 千円	17,445 千円	17,340 千円	18,149 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

	指標名	区　分	５年度実績	６年度実績	７年度実績	８年度目標	最終目標【年度】
評価指標	成果指標（アウトカム指標①） 自主防災組織の訓練実施率	目　標	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	【年度】
		実績（見込）	57.4%	57.0%	(57.0%)	(60.0%)	
		（単位当たりコスト）	(38,336 千円)	(30,605 千円)	(30,421 千円)	(30,248 千円)	
		達成率（見込）	84.4%	83.8%	83.8%	(88.2%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標（アウトカム指標③）	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①） ひょうご防災リーダー講座・基礎コースの修了者数	目　標	180	180	180	180	【年度】
		実績（見込）	163	177	167	(190)	
		（単位当たりコスト）	(135 千円)	(99 千円)	(104 千円)	(96 千円)	
		達成率（見込）	90.6%	98.3%	92.8%	(105.6%)	
	活動指標（アウトプット指標②） 地域防災活動支援事業（消防団等・訓練・加入促進事業）活用市町数	目　標	10	10	10	10	【年度】
		実績（見込）	8	9	11	(10)	
		（単位当たりコスト）	(2,751 千円)	(1,938 千円)	(1,576 千円)	(1,815 千円)	
		達成率（見込）	80.0%	90.0%	110.0%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
標	終期設定	有（　　）・				無	
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 ひょうご防災リーダー養成講座は内容を受講者アンケート等を踏まえて適宜見直している。R7年度には、受講枠に対し3倍の応募があり、県民ニーズに沿った事業であるが、反面、高い県民ニーズにどのように答えて、目標達成につなげていくかを検討していく必要がある。 【地域防災活動支援事業】 地域防災力の強化に資する消防団の訓練研修に要する経費のみでなく、消防団員の加入促進事業や自主防災組織が実施する訓練研修にも補助対象としており、県民及び市町のニーズに沿った事業となっている。	B：ほぼ満足のいく実施状況 【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 自主防災組織の訓練実施率は、コロナ禍による地域活動制限時（R2:35%）から回復してきているが、近年は横ばい傾向。 リーダー講座修了者数は、受講決定時は目標に達しているものの、受講キャンセルが一定数いるため、目標は未達。本年度は、受講者枠を最大限増やすとともに、キャンセル待ちを設定し、達成を目指す。 修了者をいかに地域で活動いただける人材に引き上げられるかが引き続きの課題。 【地域防災活動支援事業】 市町に随伴を求めている中、目標には達成している状態。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	【ひょうご防災リーダー活動推進事業】 ICTの活用により講師との連絡調整に要する経費を削減するなど業務改革に取り組んでいる。 【地域防災活動支援事業】 市町に受益者負担として事業費の1/2の随伴を求めるなど効率性に取り組んでいる。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明

【ひょうご防災リーダー活動推進事業】
・引き続き、ひょうご防災リーダーの育成を行い、修了者のフォローアップを行いつつ、市町防災担当部局と連携充実を図ることなどにより、自主防災組織の訓練実施をはじめとした、地域防災力の活性化を目指す。
・定員を上回る受講希望ニーズへの対応(オンライン配信など)を検討し、地域防災力の向上に繋げる。
【地域防災活動支援事業】
・活動の低調な市町の底上げが今後の課題であり、地域防災活動の活性化及び地域防災力の充実強化を目指す。

外部委員会意見

・令和5年度レビューで求められた研修体系の統合、事業の棲み分け、人材活用の仕組みづくりについては概ね実施されており、特に修了者の活動実態を分析し、市町との連携強化につなげた取組は評価できる。
・一方で、成果指標である自主防災組織の訓練実施率は依然として横ばいであり、育成した人材が地域防災力向上にどの程度寄与しているかの把握に課題が残る。
・今後は、修了者数などのアウトプット指標だけでなく、地域活動への参画状況や訓練実施への貢献度等のアウトカム指標を充実させるとともに、市町間格差の是正や受講希望者増加への対応を進めることで、事業効果のさらなる向上を図ることも重要である。
・リーダー講座を受講し、基礎コースを修了した者が、本事業の講師になっていくような展開を考える必要があるのではないか。